

担が生じる。少なからず、地域経済に及ぼす影響はある。

問 収入が全く増えないのに税負担が増える。市民は理解出来ない。苦情や問い合わせへの丁寧な対応、詳しい説明が必要である。なぜ、定率減税が廃止されたのか、市民に周知を図る必要がある。

答 市民の理解に関わらず、親切丁寧に改正内容・制度の説明をする。

問 暮らしを困難にしている根源は国政にある。市民の代表として、国にしっかりものを言うことが必要である。

答 趣旨を踏まえ、国や道内選出国會議員、上級関係機関に対し、私なりの行動をとる。

活性化センター「ふらっと」の目標達成のために

問 市民の要望に応え、機能と使命をどれだけ果たせるのか。駅前再開発事業全体の成否を決定する重要な施設である。指定管理者制度により運営しているが、主要な部分である健康増進施設は、再委託をしている。市民と市の間に二つの会社が存在しているため、市民からの要望・市の指導など、届きづらい状況にあ

る。また、再委託先の監視機能をどのように図るのか。



いきいき教室

問 市民サービス向上のための業務支援である。総合的な監視体制をとるのは当然であるが、指定管理者制度の契約に従い、監視というより効果的・効率的な運営のために指導していく。

問 医療費の抑制などで、年間1億2千2百万円の効果があるとして建設された。どのように実現していくのか。

答 指定管理者と常に連絡調整を取りながら、全力を傾注し運営していく。

河川の管理が大事

問 被害を最小限に抑えるため、河川敷地内の草刈りや雑

木の伐採などの取り組みは。答 河川団体草刈りボランティア制度を活用する。

岡本 俊

〔市民連合〕

富良野の姿と財政課題

問 今年度、市政執行方針で「身の丈にあった」安定した健全財政確立を表明したが、計画の検討項目は。

答 地方交付税等がどこまで削減されるかは不透明であるが、市民ニーズの中で財政的な効率を重視し、歳入見合いの予算を実現するため、自助・共助・公助を基本に歳出抑制と歳入の確保を図り、新規事業等の投資的事業抑制、事業事業の見直し、行政改革推進計画に基づく検討をしている。

問 現在の総合計画後期実施計画と新総合計画との関連は。

答 財政健全化計画における財源見直しを基礎に策定し、重点政策を明確にし、市民が安心した生活を実現するための事業を実施していく。

問 健全化計画における市民生活に関わる負担については。

答 不足する財源状況の検討をしているが歳入確保も不可避と判断している。上下水道料金、ゴミ処理手数料も検討項目と考えている。

問 計画には市民の皆さんと共有できる富良野の将来を提起すべきと思うが見解を伺う。

答 市民にとっては、将来的な不安を抱かせる側面もあると認識している。自立していくためには、財政の現状を市民と共通認識で市民生活に配慮し、将来的なまちづくりに向けた政策の配慮も重要と考えている。情報開示と意見を求め市民の理解が得られるように取り組みたい。

農地流動化対策は

問 農業の国際化、担い手不足に対応した新たな農地評価を行うべきではないか。

答 農家の減少拡大が予想されるなか、農業委員会の農地プロジェクトは、北大農学部との協力を頂きながら農地の評価と価格の検討を始めていますので協力していきたい。

答(農業委員会会長) 昨年9月農地評価プロジェクトを立ち上げ具体的な評価手法について調査研究を進めている。

問 農地流動化を促進するには地籍調査を行うべきでは。

答 農地流動化対策に有効性が高いと認識している。当分の間は困難であるが、将来の課題として受け止めている。

大栗 民江

〔公明党〕

子どもを安心して産める環境づくりを



富良野市をめざす財政の健全化